



西宮マリナパークシティの概要

平成10年3月

兵 庫 県
西 宮 市
住 宅 ・ 都 市 整 備 公 団
兵 庫 県 住 宅 供 給 公 社
西宮マリナシティ開発(株)・積水ハウス(株)



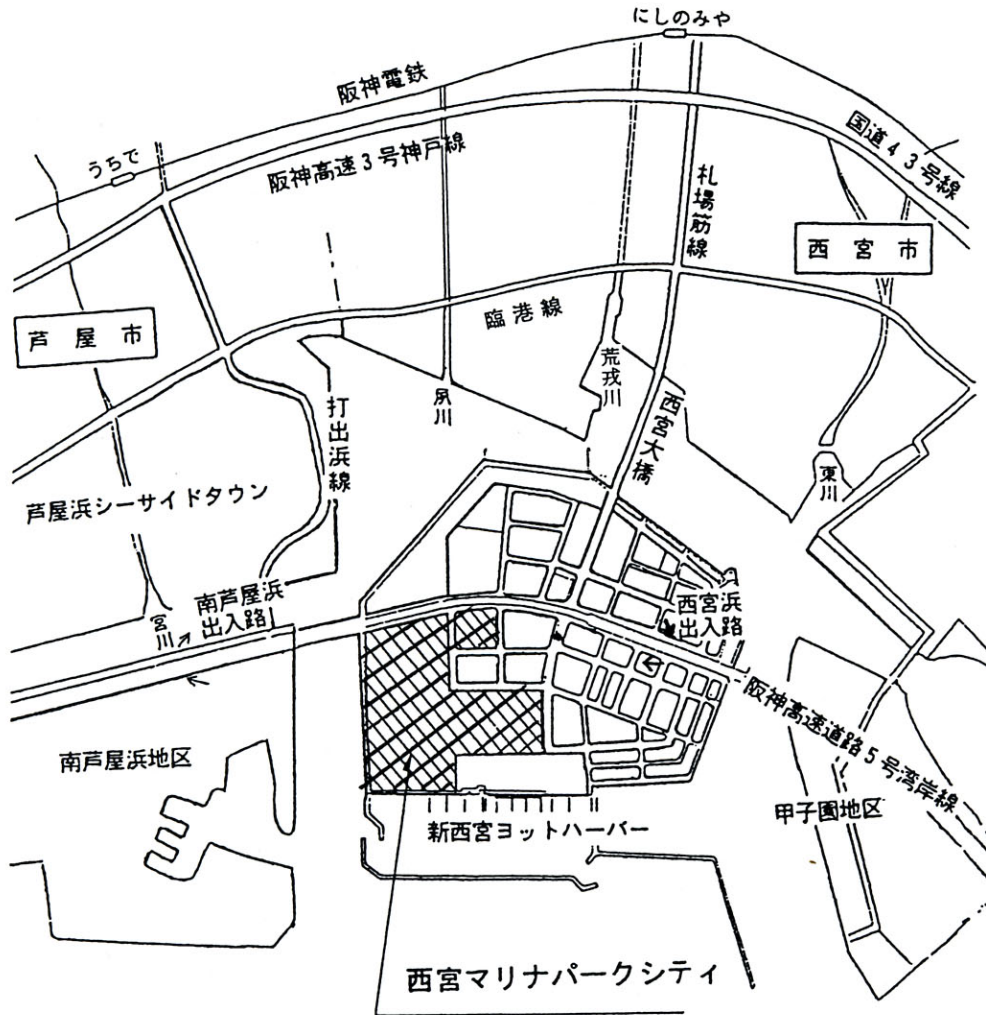
阪神・淡路大震災から3年が経ち、被災地では、一日も早い生活再建をめざし、高齢者や障害者はもとより、誰もが安心して暮らせる創造的な復興の街づくりが進んでいる。

ここ西宮浜地区（愛称：西宮マリナパークシティ）では、平成8年6月の起工以来、兵庫県、西宮市、住宅・都市整備公団、兵庫県住宅供給公社、西宮マリナシティ開発㈱・積水ハウス㈱が、震災の教訓を生かし、また、21世紀の本格的な高齢社会などを視座に据え、公民一体となって街づくりを進めてきた。

平成10年3月、県・市の公営住宅、公団・公社・民間住宅への入居が始まり、幼稚園、小・中学校、保育園、郵便局、商業施設、医療施設等がオープンするとともに、路線バスが運行を開始するなど“新しい街”が概成する運びとなった。

<街づくりの目標>

- 1 良質で多様な住宅の供給
- 2 災害時に自立できる街づくり
- 3 災害に強く、安心して暮らせる街づくり
- 4 親水性豊かな街づくり
- 5 高齢者や障害者を含む誰もが安心して生活できる街づくり



西宮浜は、港湾関連用地、都市再開発用地などの造成を目的として昭和46年から埋立工事を進めた。

埋立地の東側は、ふ頭用地・都市再開発用地等として昭和59年2月に竣功し、同西側はレクリエーション施設用地・都市機能用地、都市再開発用地等として、平成4年7月に竣功した。

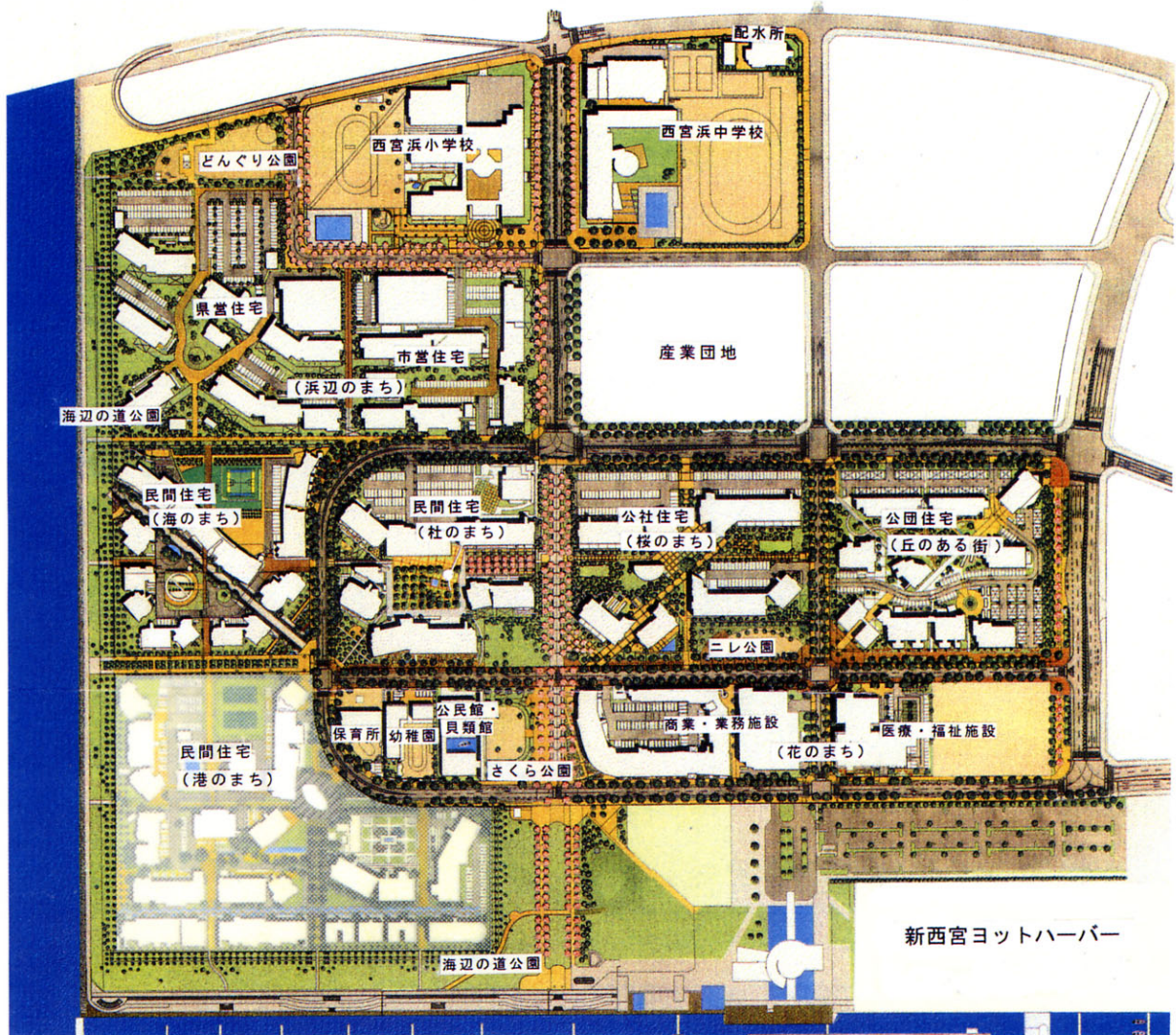
I 街の概要

1 位置・面積

- 西宮市西宮浜4丁目（埋立地）
- 最寄りの阪神西宮駅へは、約3.7km（路線バスで約15分）、阪神高速道路湾岸線の西宮浜出入口へは約0.8km、同南芦屋浜出入口へは約1.7kmの距離に位置する。
- 約31.3ha（埋立地総面積約150ha）

2 住宅戸数・居住人口

- 住宅戸数 3, 574戸
- 居住人口 約10, 000人



民間住宅（港のまち）は、イメージ

- ウォーターフロントの特性を最大限に生かし、水際線には、豊かな緑と親水性をもつ公園を配置するとともに、隣接する産業団地との境界部には、緩衝緑地を設置している。
- 街の北部には、防災拠点としての役割を担い、地域住民の多彩な交流の場となる小・中学校を配置している。
- 新西宮ヨットハーバーの背後には、街の中核ゾーンとして、物販、飲食などの日常的な消費ニーズに応える近隣商業施設や医療施設のほか、文教施設、福祉施設などの集積を図っている。
- なお、住宅は、公園・緑地や小・中学校、街の中核ゾーンに囲まれた7つの街区に配置している。

4 街の主な施設

施設の種類	概 要	開設時期
住 宅		
県営住宅	550戸。賃貸。1DK (40㎡) ～3LDK (75㎡)	H10.3より
市営住宅	349戸。賃貸。1DK (40㎡) ～2LDK (75㎡)	入居開始
公団住宅	405戸。賃貸。1LDK (49㎡) ～4LDK (91～99㎡)	〃
公社住宅	500戸。分譲。2LDK (67㎡) ～4LDK (85㎡)	〃
民間住宅	全体 1,770戸。分譲 <ul style="list-style-type: none"> • 海のまち : 450戸 3LDK (68～99㎡) ～4LDK (87～110㎡) • 杜のまち : 437戸 2LDK (67～76㎡) ～5LDK (116㎡) • 花のまち、港のまち : 883戸 住宅の規模・タイプ等は今後決定	〃
商業・業務施設		
コープこうべ	売場面積 : 約1,300㎡	H10.3
専門店等	ドラッグストア、ベーカリー、和食、洋食、クリーニング、グリーンセンター 理美容等 約20店舗。施設面積約2,000㎡	H10.3より 順次開業
特定郵便局		H10.3
銀行ATM	大和銀行、住友銀行	〃
医療・福祉施設		
病 院	協和マリナホスピタル。内・小児・外・整形・リハビリテーション科 病床100床	H11.1(予定)
老人保健施設	ウェルハウス西宮。病床150床。病院に併設	〃
診 療 所	協和マリナクリニック。内・外科	H10.4
歯科医院	三浦歯科医院	〃
調剤薬局		〃
保 育 園	なぎさ保育園。定員60名	〃
教育・文化施設		
中 学 校	西宮浜中学校	H10.4
小 学 校	西宮浜小学校	〃
幼 稚 園	いるか幼稚園。定員260名	〃
公 民 館	講堂・工芸室・調理室等。延床面積 : 約950㎡	H11.4(予定)
貝 類 館	3,800種、約4万点の標本等を展示。延床面積 : 約500㎡	H11年度(予定)
その他施設		
市民課分室	公民館内に設置。住民票の発行などの業務を行う	H11.4(予定)
交 番	用地確保済み	要望中
消防出張所	西宮浜3丁目に設置	H11.12(予定)
公 園	4箇所。総面積約3.2ha	H10.4
公共交通		
路線バス	阪神バス。JR西ノ宮駅～阪神西宮駅～マリナパークシティ 朝夕7～10分間隔、昼間15分間隔	H10.3



▲ 住宅街区内の緑道

◀ 海辺の道公園

▲ 新西宮ヨットハーバーからの街の遠景

◀ 街角広場と小学校

II 街の特長

街づくりは、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、安全で安心な生活空間の構築や良好なコミュニティの形成に配慮し、「人間サイズの街づくり」を基本に進めた。

住宅は、公民の役割分担のもと、多様なニーズやライフスタイルに対応できるよう、賃貸・分譲、「高齢単身世帯向け」から「多世代向け」まで、多種多様なタイプとしている。

また、公園や商業・業務、教育・文化、医療・福祉などの施設は、まち全体を一つの生活空間として捉え、コミュニティの中での人と人とのふれあいなどに配慮し、歩いて行ける距離に配置している。

その他、次のようなことが、この街の特長となっている。

1 災害に強い街

ア 道路は、被災時の避難路、延焼遮断帯としての機能にも配慮し、広幅員とするとともに、公園や小・中学校等を結ぶ緑道を格子状に配置している。

イ 上・下水道、電気、ガス等のライフラインは、管路の耐震性を強化するとともに、上水道や電気、ガスの供給を多元・多重システムによる代替・補完機能や自立・分散機能の確保の観点から2系統とするなど、バックアップシステムを導入している。

ウ 耐震性防火水槽、雨水貯留槽の配置による雑用水の備蓄なども行っている。

エ 電線類は、良好な景観形成にも配慮するとともに、安全な避難路や円滑な消防活動の確保の観点から地中化を行っている。

2 安全・安心な街

ア 道路、公園などの公共空間から住戸まで、段差の解消などのバリアフリー化を進め、安全・安心かつ利用しやすい施設として整備している。

特に、住宅では、玄関、便所、浴室等への手摺の設置、住居内段差の解消、共用部へのスロープの設置など、高齢者・身体障害者にもやさしい住まいづくりを行っている。

イ 街の全域において、CATV回線を利用した「コミュニティ・チャンネル」により、街のニュースや生活情報などを提供する。

ウ 県営・市営住宅、公団住宅では、非常警報型インターホンや緊急時コールボタンを設置し、公社住宅、民間住宅では、CATV回線を利用して、病院～小・中学校～各住戸などを結ぶセキュリティ・システム（緊急呼出しボタン、コミュニティ・フォン）を導入している。

エ 県営・市営住宅のシルバーハウジングでは、緊急通報システムを導入するとともに、生活援助員（L S A）を配置し、高齢者等の生活相談や安否の確認などを行う。

3 コミュニティを育む街

ア 小・中学校は、コミュニティ形成の中核拠点の一つとして、玄関前に「街角広場」、校内に「地域交流室」を設けるほか、図書館などを地域住民が利用しやすいように集中配置している。

イ 新西宮ヨットハーバーと連続して公園を配置するほか、公園を地域住民が自分の庭として、日常的に利用できるように配置、整備している。

ウ 各街区に、集会機能と多目的利用を兼ね備えた「コミュニティプラザ」（県営・市営住宅）、「コミュニティスペース」（公団住宅）、「メインロビー棟」（公社住宅）、「コミュニティルーム」（民間住宅）を、また、街中央には、工芸室、調理実習室等を備えた公民館を設置し、それらを散歩道（パセオ）によりネットワークするなど、街全体が多彩な交流の舞台となるよう、コミュニティ施設を配置している。

エ 民間住宅では、花をテーマに管理組合のバックアップのもと、自然とのふれあいを通じたコミュニティ形成の取り組みもなされている。

4 景観に配慮した街

ア 住棟配置等において、六甲山系や大阪湾の美しい眺望の確保や街並みの連続性に配慮している。

イ 建物の壁面後退により、公私の空間が一体となった、ゆとりと広がりのある空間を創出している。

ウ 街の骨格的な景観軸として、南北に“桜並木”、東西にアキニレ並木のアートストリートを設置するなど、ゆとりと潤いのある景観を創出している。

エ 街中に散歩道（パセオ）を巡らせることにより、コミュニティ・ネットワークを形成している。

オ 隣接の産業団地との境界部に緩衝緑地を配置するほか、ヨットハーバーの水辺に公園・緑地を配置するなど、緑と親水性を街づくりの重要なコンセプトとしている。

Ⅲ 街づくりの経緯

- 昭和 46年 6月 埋立免許取得
- 平成 元年 1月 兵庫県「西宮・芦屋マリーナ計画」を策定
- 元年 9月 事業提案競技を実施
- 2年 3月 「西宮マリーナシティ計画」を当選に決定
- 3年 3月 「西宮マリーナシティ計画」の事業計画を承認。積水ハウス(株)、川崎製鉄(株)、伊藤忠商事(株)の3者を事業者決定
- (主な計画施設)
- 商業施設、ホテル、コンドミニウム、マリーナホール等
- 7年 1月 阪神・淡路大震災の発生
- 7年 4月 「西宮マリーナシティ計画」を「住宅を中心とした街づくり」に変更
- 7年 9月 「西宮浜地区土地利用基本計画」を策定
- 8年 3月～ 北側区画道路の整地工事、住宅の地盤工事に着手
- 8年 6月 「西宮浜街づくり起工式」を実施
- 9年 2月～ 県営・市営、公団住宅入居者募集
- 公社住宅、民間住宅分譲開始
- 10年 3月 「西宮マリーナパークシティ街びらき記念式典」を実施

